

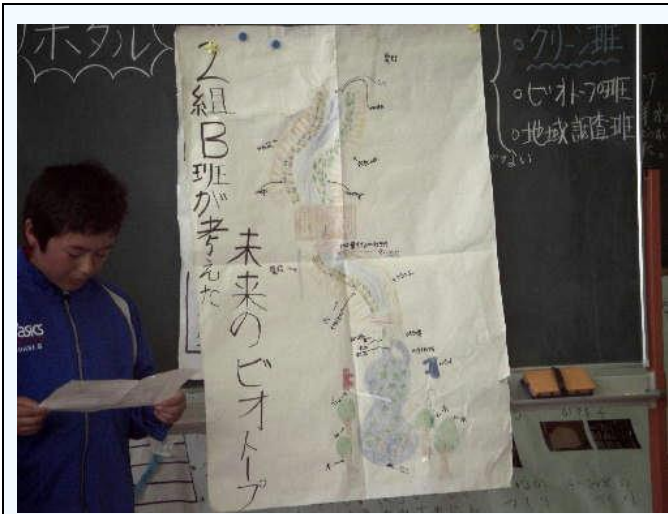
テーマ：『 身近な環境を調べよう（ホタルの住むビオトープづくり） 』

那須塩原市立 南小学校

Tel. 0287-36-0244

担 当 蓮實 良子

者：



■実践内容：

本校の庭には、那須疏水の水を引き込むせせらぎと、それに連なる池(ひょうたん池)があります。作られて何年もたつのですが、生き物のほとんど見られない水辺でした。そこで、5年生の総合的な学習の時間に、環境について学習するひとつとして、『ホタルの住むビオトープづくり』を目標にして、何とか生き物の住む水辺にしようと、調査・観察し、作業をしました。専門家にアドバイスをいただいたり、子どもたちにはできないような作業は地域の方に手伝っていただいたりして、何とか、生き物が住めるような、そして、来年の夏にはホタルが飛び交うような水辺を作り上げました。

■実践成果：

身近な環境を考えるための材料は校内のビオトープにありました。子どもたちはこの学習をとおして、環境の美化に努めることだけでなく、生き物の生態に合った環境を作ることがいかに大変で重要なことかということを学ぶことができました。そしてあわせて、校内の水辺の環境が整い、休み時間のたびにたくさん子どもたちが集まる場所になりました。

■実践ポイント：

児童の発案から始まった、『ホタルの住むビオトープづくり』ですが、この計画は、今年度で4年目を迎えます。毎年5年生が取り組んできた課題です。子どもたちは前年までの作業を受け継ぎつつ自分たちの考えや工夫を取り入れながら、今年とうとう完成にこぎ着けました。